

## 基本目標1（地域の基幹産業を守り育て、強化するとともに新たな産業と雇用の場を作る）

美幌町の基幹産業である農林業においては、地域資源を改めて見つめ直し、付加価値向上、新商品開発化や産業間連携による地域経済の更なる活性化を目指します。また、観光業においては、女満別空港への距離や道東地区の交通の要衝であることなど当町の地理的優位性を活かし、今ある地域資源を起点として、更に新たな魅力づくりや滞在型観光など経済波及効果を求めた観光施策に取り組みます。これらの産業の強化を通して、新たな就業者の獲得と雇用を創出するとともに雇用の安定化、地域経済の向上を図ります。同時に、意欲ある人材が美幌町において活躍できる環境整備に努めます。

### 意見

・女満別空港～美幌町～美幌峠への公共交通機関は現状タクシーのみで、ほぼ自家用車かレンタカーなどでアクセスできない状況であるため、交通網を確保することで、公共交通機関を使って移動する観光客（免許を返納した高齢者やコロナ禍以降増加しているインバウンド客等）を含めた観光需要に対応できる。美幌峠はもとより美幌町下の観光入込客数が増加し、ガイド業や宿泊業など新たな観光事業者が生まれるなど雇用機会が創出されることで、町内の観光産業が活性化すると考えられる。

・美幌町の様々な業界・団体について、ブランディングが上手ではないと感じており、デザインの力も軽視しているように感じる。

・町中心部に道の駅等の設置で町内に人の滞留が期待できるのではないかと。

- ・今ある企業で撤退を検討している企業はないのか実態を把握する必要がある。（日甜等）
- ・美幌で働く外国人労働者の実態を把握し、国に帰った後でも美幌町をPRしてもらう様な状況を作るべき。
- ・新ホテルの増設計画について、客層を分析して今後の企業誘致・観光に活かすべき。
- ・ドローンやGPS搭載機械などの購入に対する勉強会や補助金の増額。
- ・役場や農協の職員に美幌町の基幹産業である農業や林業の体験をしてもらう。
- ・7月からの新紙幣に対する機器への補助。

・人口減少を食い止めるためには安定した雇用の場が必要になるため、町内事業者・企業の雇用が増加する環境を確保できるような対策を推進すべき。

・まちなかに観光客や町外者が立ち寄れる道の駅のような施設があってもよいのでは。

・KITEN、みどりの村周辺をベースとした滞在型・体験型観光を充実させる。

・駅や空港からの往来の充実。

・美幌町の特徴を活かしたグリーンツーリズム・アグリツーリズムの構築。

・観光資源の見直し、掘り起こし。「冬のアクティビティ」など。

・食量・農業・農村基本法（農林水産省）の見直しについての対策

※地域コミュニティの維持、農業・農村インフラの機能確保

## 基本目標1の方向性に入れ込むべき事項・キーワード（案）

### ○農林業・商工業

- ・担い手や従業員の確保・育成の支援や助成について検討。
- ・既存商品のブラッシュアップを行い、町内外に向け特産品や商品についての魅力を効果的に発信することで、美幌町の地域経済の更なる活性化を目指す。

### ○観光業

- ・観光施設とつなぐ公共交通機関の整備を検討し、観光資源の見直しを行いながら既存の観光事業を発展させる又は新たな観光事業を展開。
- ・観光客や町外者が利用できる施設の整備により、体験型・滞在型観光の推進。

### ○企業誘致

- ・現状の把握や美幌町に訪れる又は滞在する方について分析を行うなど、企業誘致に繋がる情報収集を行い、本町の特性をPRし企業誘致に務め、雇用の創出やまちなかのにぎわいを作り出す。

## 基本目標2（「びほろ」らしさを活かして、ひとを呼び込み・呼び戻す）

美幌町における人口の社会増減は、ほとんどが北海道内の移動であり、その中でも30代までの人口移動が多い状況となっています。特に20代の転出入が多いため、この世代を中心とした定住促進を図ることで、社会減少が抑制され、その後の人口の自然増加につながると思われるため、若年から子育て世代を中心とした定住促進策を推進します。また、美幌町での暮らしやすさや魅力を全国各地に向けて発信し、新たな「ひと」の流れづくりを推進します。さらに、基幹産業である農林業と自衛隊駐屯地を抱える美幌町は、その特長と基盤を活かし、企業及び政府関係機関の誘致に努めることにより、人口減少の抑制対策にあたります。

### 意見

- ・ 基幹産業の農林業&自衛隊駐屯地のことを知っているようで知らない町民も多い。びほろらしさとは何か。
- ・ Instagramの活用
- ・ 若い世代が就業したくなるような職種（IT関連・エンターテインメント業）の企業誘致の推進。
- ・ 美幌町の企業に魅力がなければ、人材を育てても、都市に持って行かれる。
- ・ 早期退職する方へ、何が原因で退職するのかを聞き取りする必要があるのでは。
- ・ どんな仕事がしたいのか中学生や高校生に聞く場が必要ではないか。
- ・ 町内の事業者は新たな人材を集めることに苦労している。
- ・ 町内事業者に対して美幌の魅力発信も含めた人材確保活動について対策を推進するべき。
- ・ 若い世代が住宅を持ちやすいような助成。（新築又は購入時に助成する。新築または購入時から数年間固定資産税の減額を行うなど）
- ・ 住宅ローン・教育ローンに限定した利子補給。
- ・ ふるさと納税による「美幌ブランド」の強化と発信。
- ・ 美幌に住んで近隣市町村で働く人への通勤補助など。
- ・ 美幌高校の魅力を発信し、道内外の生徒募集を進める。※寮や下宿の充実
- ・ 女性が働ける場所や女性が働けるように自立支援を行い、女性が暮らしやすい町づくりを推進する。

### 基本目標2の方向性に入れ込むべき事項（案）

- 移住・定住（UIJターン）
  - ・ 学生に地域及び企業を知ってもらうため、大学と地域間の交流を促進し、雇用創出及び若者定着の促進を図る。
  - ・ 若者のニーズを把握しそのニーズに沿った助成制度などの施策の検討。
  - ・ 移住・定住者の金銭的負担の軽減を目的とした補助について検討。
  - ・ 美幌高校の魅力を発信し、道内外の生徒募集を推進する。
- 情報発信
  - ・ （びほろらしさ）を再認識し、町内外に向けて美幌町の魅力発信をSNSなどを活用し行う。
- 関係人口の創出・拡大
  - ・ 美幌町への人の流れを強化するために、UIJターンなど将来的な移住に繋がる「関係人口」の創出・拡大を推進。
  - ・ 美幌町の知名度向上を期待し、ふるさと納税を強化。
  - ・ 企業との関係性を構築し、関係人口の拡大を期待します。

### 基本目標3（このまちで出会い結婚し、子どもを産み育てたいという希望をかなえる）

美幌町は全国・北海道に比べて高い合計特殊出生率を誇っていましたが、人口規模が長期的に維持される水準である2.07を大きく下回る状況が続いています。しかし、アンケート調査における希望する子どもの数は、平均して2.5人となっており、実態と希望が合っていない状況となっています。そのため、妊娠から出産、保育に至るまでの子育て環境の整備や、教育環境全般にわたる施策の充実を図ることによって、美幌町で子どもを生み育てたいという環境づくりに取り組みます。また、結婚を望む男女の希望をかなえるため、出会いから結婚までのサポート体制を整えます。

#### 意見

- ・ 出会いの場について、農家や自衛官の男性と女性の出会いの場は耳にしたことがあるが、他の職種だとどうか。
- ・ 町内の小中学校の今後について見通しの持てないまま何年も過ぎており、子育て世帯は不安だらけのため具体的な説明が欲しい。
- ・ 生活する上で不便さを感じないため、安定した生活ができる職場づくりが課題では。
- ・ 外国人労働者と町内の若者との交流の場を設ける。
- ・ 北見工業大学や農大との交流の場を設ける。
- ・ 里祖父母制度を作り、少しの間でも子供の面倒を見てくれる人を登録する。
- ・ 現在実施されている出産・子育て支援の継続と多くの人に伝えるPR活動を推進するべき。
- ・ 仕事や子育てに集中できるよう、医療・教育・部活動に関わる施設をまとめ、送迎などが最小限で済むような施設整備を進めるべき。
- ・ 産婦人科医院の誘致をし、安心して町内で出産できる体制の整備。
- ・ スポーツ少年団、部活動等に係る指導者の充実を含めた支援体制の構築。
- ・ 子育て世代とその親世代との3世代居住・近隣居住への行政的なサポート
- ・ 美幌高校の魅力を発信し、道内外の生徒募集を進める。※寮や下宿の充実
- ・ 女性が働ける場所や女性が働けるように自立支援を行い、女性が暮らしやすい町づくりを推進する。

#### 基本目標3の方向性に入れ込むべき事項・キーワード（案）

- 出会いの場・結婚までの支援
  - ・ 結婚を望む男女の希望を叶えるため、交流の機会を創出。
- 出産・子育て支援
  - ・ 安心して子供を産み育てられるよう、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を推進。
  - ・ より多くの人に対して、実施している支援についてのPR活動を推進。
  - ・ 通院に係る負担を軽減させ、安心して子供を産める環境を整える。
- 女性が働きやすい環境づくり
  - ・ 企業や事業者に対し、妊娠・子育てに関する休暇制度を活用するよう働きかけを行い、働きやすい環境づくりを推進。
- 柔軟な働き方の推進
  - ・ ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、町民や事業者へ意識啓発を行い、働きながらも子育てをしやすい環境づくりを整備。
- 教育環境の充実
  - ・ 小中一貫教育を推進し、9年間の義務教育期間を見通した切れ目のない教育と質の高い持続可能な教育環境を確保。

#### 基本目標4（住み続けたいと思える生活環境を整える）

美幌町が高い持続性・自立性をもって次世代につなげていくためには、住民にとって住み続けたいと思える生活環境が必要です。平成30年に実施した町民アンケートによると、年齢が下がるにつれて住みごちの良さの割合が下がる傾向にありました。とくに10代～30代までの若年層では8割を切る結果となっていることから、産官学等と若者が連携し、若者世代が将来を見据えた住みよいまちづくりを自ら考え、実践できる体制を整えます。地域や未来を担う「人づくり」と経済活性化による「しごとづくり」を好循環させる「まちづくり」を推進し、美幌町が全ての住民にとって住みよいまちとなることを目指します。

#### 意見

- ・地域や未来を担う人づくりについて、若年層やその親御さん世代が町のことをどう考えてるか気になる。
- ・働き盛りの世代にあたりどの家庭も忙しいと思うが、幼稚園・小学校などPTA総会など閑散としていて寂しい。身近なつながりを広げていくことが住み続けたいと思えることにも直結すると思う。
- ・自分の得意な分野を登録する人材バンク（スポーツ・教育・子育て等）をつくり人手不足の企業、農家、学校のクラブ活動などに派遣される制度をつくり、まちづくりに関わっている実感を持ってもらうのはどうか。
- ・美幌高校を選んだ・選ばなかった理由、将来も美幌に住み続けたい・出ていきたい理由を具体的に聞き取りを行う。
- ・広報誌に町内企業の紹介記事を掲載するページを設ける。
- ・若年層が考えることや実践することを、上の世代が理解し応援できる環境づくりを行うべき。
- ・インターネット社会、コンパクトシティ化を踏まえ、全町Wi-Fi無料など美幌に住む優位性を見出す。
- ・ファストフードなど若者に人気のある業態の誘致。（店舗等のリースバックも含め美幌に出店する優位性を出す。誘致が不可能であれば官民一体となった複合商業施設の建築・運営・出店支援など）
- ・マイカーローンに限定した利子補給。
- ・年齢が下がるにつれて住み心地の良さの割合が下がっているのは何故か追及する必要がある。
- ・スポーツ・フィットネス・健康づくりへの施策を展開し、施設や機会の充実を図り、人々の活力、予防医療へつなげる。
- ・幼、小、中、高で異校種間の連携や行政、各関係機関、大学などの連携・協働して美幌町を支える人材を育成し、まちづくりに参画させる。

#### 基本目標4の方向性に入れ込むべき事項・キーワード（案）

- まちづくりに対する町民の意識改革（住民参画のまちづくり）
  - ・住民のシビックプライドの醸成。
  - ・町民が自分たちのアイデアを提案できる環境を整備。
- 意欲ある人材が活躍できる環境づくり
  - ・意欲ある人材が美幌町で活躍できる環境を整備。
- 安心して働ける環境
  - ・若年層の離職防止に向けた取組など、就業環境の整備等に関する取組の支援について検討。
- 安心安全
  - ・各種施策を展開し移住・定住人口の増加を図るとともに、空家・空き地の活用を推進し、地域の活性化を図り、地域住民の不安や不満を解決。
  - ・防災体制を充実させ、災害被害を最小限に抑える。
- 健康
  - ・健康づくりを推進し、健康で心豊かに生活することができ、活力ある社会を目指す。

## UIJターンを強力推進するために

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ UIJターンしてきた方の繋がりのある人たち（兄弟・同級生・知り合い等）を巻き込む。</li><li>・ 同窓会の開催を促進するために飲食代・交通費などに対して補助を出す。</li></ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ KITEN の活動のアピール、町民でもあまりわからないのではないか。</li><li>・ テレビコマーシャルの検討。</li></ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 町内事業者が行う採用活動・企業説明会・インターンシップ等に対する参加費や各種費用の助成を行うことで、雇用確保の対策になるのでは。</li><li>・ 奨学金返済支援金の支援条件を拡大してはどうか。人材採用に苦勞する町内事業者等に拡大することで、人材確保と移住者確保になる。</li><li>・ 若者への町営住宅貸し付け条件の緩和又は家賃助成、リフォーム助成、新築住宅取得助成など住居に対する緩和策を展開することで、移住しやすい状況を作る。</li></ul> |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 町内空き店舗の有効活用を促進するため、UIJターンを限定としたテナント料の無償化。</li><li>・ 電子媒体を利用した「求人広告」と駅や空港等に「UIJターン」を意識したインパクトのある広告掲示等。</li></ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ インターネット環境の強化。（テレワーク対応など）</li><li>・ 起業支援の充実。</li><li>・ サイト「びほろ暮らし」の効果的なPR・発信。</li></ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ ウェルビーイングを上げる教育を実践し、将来的に美幌町を支える人材育成を行う。</li><li>・ 大都市の企業経営者に美幌町を認知してもらう。</li></ul>   |

## 女性の定着を図るために

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 国保病院での婦人科診療再開、耳鼻科医院の誘致。</li><li>・ Instagramに上げたいかなるようなお洒落な場所や知られざる絶景などを調査してランキング化。</li></ul> |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 魅力ある企業の誘致。</li><li>・ 女性起業家への積極的な補助。</li><li>・ 子供の預け先の確保。（保育所等が定員割れしているところの利用）</li></ul>      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 基本目標3でも意見した通り、多くの人に伝わるPR活動を推進し、送迎がまとめて行えるような施設整備の推進。</li></ul>                               |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 若い女性が利用しやすいジム（リラクゼーション設備のある）等、美容・健康維持に取り組める施設の充実。</li></ul>                                  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 町を離れる節目のタイミング（進学・就職・結婚）で、町に残る選択肢を選べるような環境づくりの推進。</li></ul>                                   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 女性が安心して働けるための自立支援。</li></ul>   |

## 青年団体等との意見交換について

|   |
|---|
| ・若い世代に対し「この町に住み続けたいか」、移住者等に対し「美幌の良さと残念ポイント」 |
| ・これまで移住してきた方に対し、普段気付かない美幌の魅力や改善点を聞く。        |
| ・若者は新聞やテレビを利用するのか。SNSの情報に危機は感じていないのか。       |
| ・今一番の美幌の危機は何だと感じているか。                       |
| ・町議会議員になるとしたら何が一番の障害か。                      |
| ・相談をする相手はいるか。いるとしたらどんな立場の人か。                |
| ・将来のことをしっかり考えた前向きな意見が伺えるようお願いします。           |
| ・どのような施設・行政支援があれば美幌に住み続けるか。                 |
| ・若い世代から見て美幌に定住することで不足している点は何か。              |
| ・美幌の良いと思うところ・不便だと思うところ。                     |
| ・高校生と年齢が比較的近い世代との連携や意見交換会など。                |
| ・YouTubeなどSNSで魅力を発信する。                      |

## デジタル技術の活用方法について

|  |
|--|
| ・病院の混み具合や待ち時間が分かるアプリ。  |
| ・習い事や少年団の活動が丸ごとわかるサイトの様なもの。（口コミが頼りのため）   |
| ・農林業において、ドローン等の導入を推進しては。   |
| ・デジタル技術も大事だが、高齢者にも配慮してアナログも残してほしい。   |
| ・ICT機器・重機・農機がどこでも活用できるルウ新環境の整備。（特に山・畑）   |
| ・スマホの所有が認められていない子ども（小中学生）の位置情報や連絡手段の確保。  |
| ・町内のパート・アルバイト・ボランティアのマッチングサイト的な物の運用又は提携。   |
| ・美幌町アプリを作成し行政サービスを見える化する。アプリを通して、緊急連絡・災害情報等を住民に迅速に伝える。窓口業務（各種問い合わせや相談について）の事前予約。 |
| ・大前提として、デジタルが苦手な人に対するサポート体制の強化。  |
| ・観光地（美幌峠）をバーチャル体験でき、実際に足を運んでもらう企画を行う。※企業と連携するなど                                  |